

第1章 -Chapter1-

本調査の目的

第1章 本調査の目的

本地域日本橋は、江戸本来の下町であり、江戸発展の中心であった。しかし、大震災、戦災のため、ハード（建物等）としてはほとんどが消滅してしまい、「江戸の発展の中心」であったことは、人々の記憶に残っているのみである。

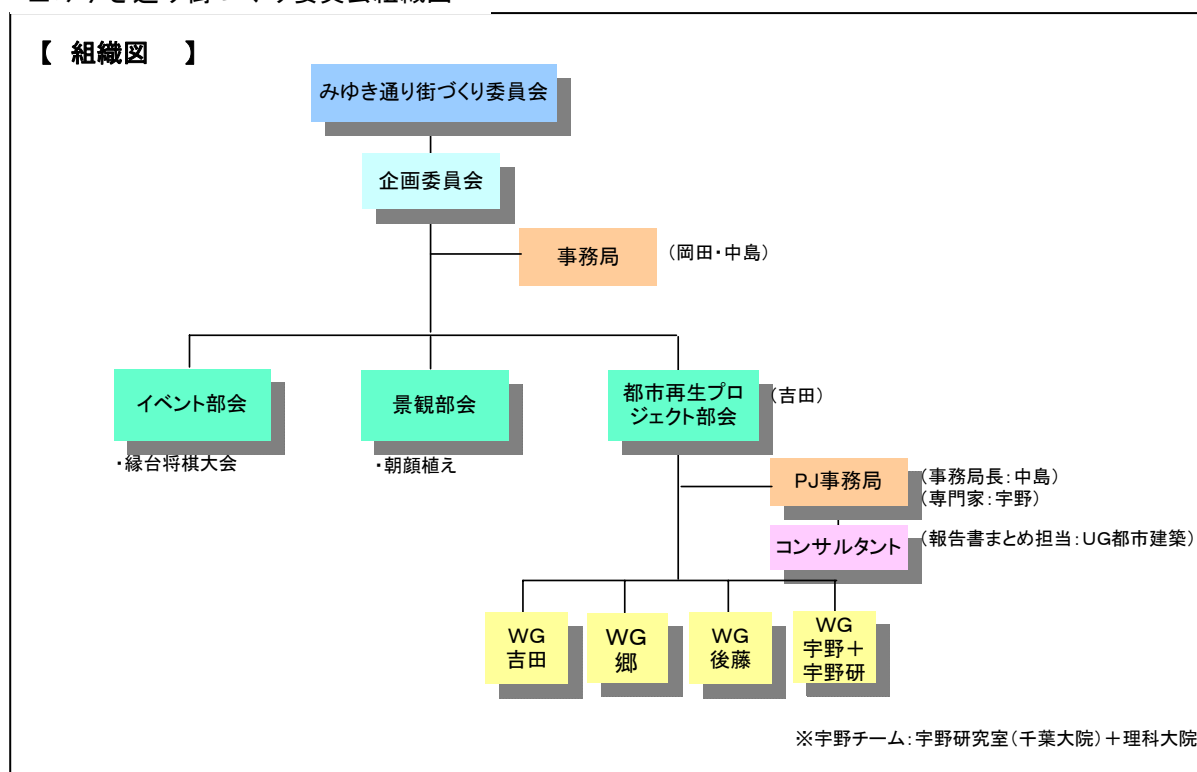
その「江戸の発展の中心」という意識を、もう一度、このみゆき通りを中心として取り戻そうというのが本調査の一番のテーマである。

それは古い建物を再現するということではなく、「庶民・町方の町」の歴史・文化を継承・再現しつつ、「江戸の発展の中心」を取り戻そうというもので、「東京のダウントウン」を再生する試みである。

本調査の応募主体である『みゆき通り街づくり委員会』は、オール日本橋の再構築を目的として、点から面へのまちづくりをコンセプトとし、関東大震災復興視察時、昭和天皇がお通りになったみゆき通りから江戸桜通りまで、両国橋から常盤橋を結ぶ約2 kmを軸とした地域一帯の街づくりを目指して、現在、活動を行っている。

本調査を、その永続的なまちづくり活動の一貫として位置づけ、昔からこの地域で商売をしている人、住んでいる人々が、今後も住み続けていくことができ、次世代の子供や孫、ひいては後世までも維持・住み続けていけるような街づくりを目指していくことを目的とする。

■みゆき通り街づくり委員会組織図



本調査に関しては、下記の方々の多大なご尽力・ご協力をいただきました。

[行政]

- ・中央区
- ・国土交通省東京国道事務所

[町会・商店会 等]

- ・二の部町会連合会
- ・三の部連合町会
- ・四の部連合町会
- ・五の部連合町会
- ・日本橋問屋街街づくり協議会
- ・横山町奉仕会
- ・協同組合東京問屋連盟
- ・問屋街活性化委員会
- ・横山・橋通り共栄会
- ・横山町馬喰町新道通り会
- ・やげん掘商店会
- ・歳の市保存会

[各教育機関]

- ・千葉大学
- ・東京理科大学
- ・東京海洋大学
- ・京都造形芸術大学
- ・日本橋中学校
- ・久松小学校

[各種団体・機関]

- ・東京織物卸商業組合
- ・ファッション戦略会議
- ・日本橋めぐりの会

[その他]

- ・薬研堀不動尊
- ・梶森神社
- ・初音森神社 等